

発行 東通村 / 〒039-4292 青森県下北郡東通村大字砂子又字沢内5番地34 ☎0175-27-2111 (代) ホームページアドレス http://www.vil.higashidoori.lg.jp/

満1歳で～す！のコーナーに子どもの写真を載せたい方は、子どもが1歳になる月の前月10日までに掲載事項を写真に添付し総務課広報係までお届けください。

<問合せ先>

東通村総務課広報係
☎27-2111

わんつかひがしどおり



【問合せ先】伊藤ブルーベリー農園(伊藤岩五郎さん)
東通村大字田屋字館古横道115番地2
☎ 090-8928-9147

7月中旬、村内では、ブルーベリーが食べごろを迎えました。広報ひがしどおりは、石藤平の【伊藤ブルーベリー農園】を訪れました。予約無しで来ても大丈夫とのことです。
ぜひ訪れてみてください！



春祈祷・ムラ境に人形と幣束を立てて悪疫を祓う(鹿橋)



ヤメボイ (百万遍一大利)

「今昔物語」

(写真：東通村史ダイジェスト版より)

「ヤマイボイ(ヤメボイ・ヤメヨゲ)」

医療技術が今ほど発達していなかった時代では、伝染病などの流行病(はやりやまい)は、共同体であるムラにとって一瞬で広まるため恐怖や不安を抱くものでした。新型コロナウイルスで日常が変化してしまった現代の我々も、当時の人たちの不安な気持ちを理解できるのではないのでしょうか。

昔はこれに対抗する手立てとして、民間医療的な行為や神仏への祈願によって流行病から身を守ろうとしました。その中でも百万遍(ひゃくまんべん)念仏による悪疫退散(あくえきたいさん)の儀式は、青森県内で広く行われてきました。

またヤマイボイは病送り、疫病送りを意味し、南部地方では人形送り、人形立て、人形結び、津軽地方ではポーノ神送りと呼んでいます。下北地方におけるヤマイボイは内容にも地域差があるようです。東通村では百万遍と人形を用いてアズキ飯や団子などを海や川に流したり、そのなかで百万遍の数珠回しをしている地域もあったようです。

今も集落の出入口にワラ人形を立てたり百万遍念仏をして、地域を災厄から守っている方々がいらっしやいます。現在は密を避けるため活動を自粛しているところが多いと聞いていますが、これらの行事は地域コミュニティを維持するために続けてきた大事な儀式です。人とつながることの大切さが見直されているコロナ禍の現代だからこそ、後世に伝えるべき重要な文化ではないのでしょうか。

(参考文献：青森県史 民俗編 資料 下北 平成19年3月刊行)